

# 明日に 向かって

明日に向かって

多治見陶都ライオンズクラブ

広 報 誌

Vol.  
**27**

2012年9月発行

多治見陶都ライオンズクラブ ◇事務所 〒507-0071 多治見市旭ヶ丘 10-6-33 美濃焼卸センター内 TEL<0572>20-2366 FAX<0572>20-2367

第21期 活動方針

「地元地域の要望を聞き、  
また、メンバーの

PRと共に奉仕の心

「ワイサーズ」





# 新三役



## 地元地域から愛され頼られる

### 多治見陶都ライオンズクラブへ



多治見陶都ライオンズクラブ  
2012.7-2013.6  
会長 L. 渡邊孝司

このスローガンの下、出来る限り地元コミュニティのニーズを察知し、その中からライオンズスピリットにのっとったアクティビティを選択して光を当てる。それが、地域から頼られるライオンズへと発展し、最も有効なPRとされます。そして、『We Serve』多治見陶都ライオンズクラブも誕生して20年の歳月が流れましたが、我地区陶都の町も不況風が吹きすさんでいます。その中、会員の増強や出席率の向上、課題は大変ですが、三役また、各委員長、会員相互の理解と協力の下に頑張っって進んで行きたいと思っています。

## 新年度の抱負



多治見陶都ライオンズクラブ  
2012.7-2013.6  
幹事 L. 小澤隆幸

今年度 新会長の下 幹事を拝命いたしました。ライオンズのバッジに英語で「secretary」と書いてありました。英語で秘書という意味かなと思い辞書を見てみると company secretary 総務、英国では secretary of state 国務大臣、米国では 長官 (minister) 閣僚という意味があるそうです。日本では幹事は、取りまとめ役という意味があります。大変な役をいただいたものだと身が引き締まる思いがします。

会長方針に従い 多治見陶都ライオンズのために微力ながら全力を尽くしたいと思っておりますので皆様 絶大なるご協力のほどよろしくお願い致します。

## 新年度の抱負



多治見陶都ライオンズクラブ  
2012.7-2013.6  
会計 L. 宮嶋茂年

多治見陶都ライオンズクラブに入会させて頂き、まだ5年目の私ですが、この度会計の大役を仰せつかりまして戸惑いと不安でいっぱいです。特に今年は渡邊会長の目標として掲げられている第51回東洋東南アジアフォーラム(福岡)への全員出席を今年が目玉とされており、それに対しての会計の仕事をしっかりとこなせる様、心構えをしております。

何分にも力不足の会計ですが、会長・幹事様と協力し地元地域から愛され頼られるクラブを目指して努力してまいりますので、皆様の御指導ご鞭撻、御協力を賜ります様宜しくお願い致します。





# ご挨拶

多治見陶都ライオンズクラブ  
2011-2012 年度  
会長 L.大嶽利彰

一年間本当にありがとうございました。

昨年はスローガンを「ゼロからの出発「心こそ大切-見つめなおそう先人からの継承-」と決めさせていただき、二十周年の節目を迎えた多治見陶都ライオンズクラブ。

通常の活動に加えて記念事業に「多治見市役所に「災害時-簡易テント寄贈」「陶技学園に記念植樹、ベンチ寄贈」そして「二十周年記念式典」を無事成しとげる事ができたのは、メンバー全員の一致団結の賜ものと深く感謝申し上げます。

昨年三月には「生涯忘れることがない大震災が起こりました。現在日本全国で十万人をこえるメンバー全員が今どうすべきか。今後どのように活動してゆくべきかを考えていると思います。

一年間で感じさせていただいた、多治見陶都ライオンズクラブの団結力、若いメンバーの活躍、先輩諸兄の行動力は、本年の渡邊会長のリーダーシップのもと更に大きく飛躍できるものと確信しております。最後になりますが、幹事・会計と支えていただきましたL.黒肱功藏 L.加藤友彦に再度感謝申し上げます。挨拶とさせていただきます。





多治見陶都ライオンズクラブ  
2011-2012年度  
幹事 L.黒肱功藏

## 1年を振り返って

メンバーの皆様のご協力のもと、20周年という節目の年を無事終える事ができました事、あらためましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

幹事として、あまり皆様のお役に立てる事はできませんでしたが、この1年間、ライオンズクラブについていろいろな勉強をさせていただきました。また、他クラブの方とも交流ができ、とても良い経験をさせていただきました。今後は、この経験を活かしながら、We Serveの精神をモットーに、クラブ活動に参加したいと思います。最後に、会長を勤められましたL.大嶽利彰様、会計を勤められましたL.加藤友彦様には、いろいろとお世話になりありがとうございました。また、1年間本当にお疲れさまでした。



多治見陶都ライオンズクラブ  
2011-2012年度  
会計 L.加藤友彦

## 1年を振り返って

1年間会員の皆様には大変お世話になりました。

クラブ創立20年という節目の大事な年にクラブ会計という重職を会長・幹事より指名をうけ、会員の皆様に任せていただき、振り返ってみればあっという間の1年でしたが、私自身本当に勉強になりました。知将山本五十六の名言の一つである、

「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。

やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」

大嶽会長のクラブ運営の姿勢に接する度にまさにこの言葉を感じました。

また、黒肱幹事には類い希な人信調整力の下、会務を着実に遂行する姿勢・様を魅せていただきました。1年間本当にありがとうございました。今後も大好きな多治見陶都ライオンズクラブを自分自身の中では大切にしていきたいです。

これからも会員の皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。



# 新 入 会 員



有限会社 アイデアコミュニケーションズ

代表取締役社長 内山圭吾

Uchiyama Keigo

「内山君、会に入れちゃるでな」私の人生の師匠“柴田学ライオン”からのお声掛けでした。日々の売上や業績に追われる毎日を過ごしていた平成 22 年、入会のご機会を頂きました。入会時にはどんな活動をしている団体なのかを正直なところ「ボランティア団体」というイメージ以上のものはありませんでした。ですが、多くの先輩の様々なご意見や思いにたくさん触れさせて頂く中で、自分のありかたに大きな変化を感じています。それは「思いやり」という事のほかにありません。目の前にいる方には当然の如く、知人ではない方、まだお会いすらしていない方にまで、最大限の配慮という「思いやり」に満ち溢れた方々の集まりであり、クラブである事を知る事ができました。自分のありかたとして、この「思いやり」を少しでも学び、多くの人にこのクラブの素晴らしさを知って頂けるように、自分のできることを実践していきます。



株式会社 森下商運

不動産部長 下鳥正治

Shimotori Masaharu

今年4月から入会させて頂きました下鳥正治です。多治見市役所を定年退職しましてから不動産業を営んでおります。思い起こせば、税務課に在職中の40歳の時に宅地建物取引主任の試験を取り、今があるわけですが、あの時に試験を受けておいて本当に良かったと思う今日この頃です。

これからは健康に留意し、多治見陶都ライオンズの皆さんと交流を深めて、行事等にも積極的に参加していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願いいたします。





# 2011-2012 年度 主なアクティビティ

- 7月 街角木かげオアシス事業（上山町） - 多治見市へ目録寄贈
- 8月 20周年記念事業「災害用 - 簡易テント」  
多治見市へ寄贈
- 9月 ガバナー公式訪問3Z合同例会記念事業  
土岐市災害復興支援金として  
東日本大震災へ寄付  
台風12号災害支援物資送付
- 10月 多治見市桜再生協議会 虎溪山下草刈り参加
- 11月 20周年記念事業  
「陶技学園50周年記念事業協賛 - 陶芸の森植栽・ベンチ寄贈」
- 1月 応急手当普及員講習会実施
- 2月 20周年記念式典 - クラブホームページ作成  
多治見市桜再生協議会 虎溪山野鳥巣箱掛け作業実施
- 3月 小中学校9年間皆出席者表彰 街角木かげオアシス事業（金岡町） - 多治見市へ寄贈  
自閉症協会多治見支部へ助成金贈呈
- 4月 救命救急講習例会（タルボへ助成金贈呈）
- 5月 ボーイスカウト・ガールスカウトへ助成金贈呈
- 6月 多治見レオクラブへ助成金贈呈 日本震災被災児育英会へ寄付



災害用 簡易テント 多治見市へ寄贈



タルボへ助成金贈呈



街角木かげ事業(上山町) 多治見市へ目録寄贈



20周年記念式典



救命救急講習例会



救命救急講習例会

## 編集後記 PR委員会



「今回こそは新年度総会に間に合わそう！」を目標に準備に取りかかりましたが、やっぱりこの時期（9月）になってしまいました。発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。

昨年度はクラブ結成20周年の記念すべき年であったのでこれまでのクラブの軌跡を実行委員会で記念誌にまとめ発行していただきました。よって今回のクラブ会報誌は渡邊会長以下、今年度執行部の紹介と、前執行部のお礼挨拶、それと未掲載であった新入会員の挨拶文にとどめました。

27号発行に際しまして、ご協力をいただきました皆様と、お忙しい中、編集にご尽力いただきました、L. 奥村元司にこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。